

子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち



広報

くじ

1

2017
月1日号

No.260

みんなで創った みんなの舞台—

10年の節目を迎えた「久慈市民おらほーる劇場」。11月26・27日におらほーるで行った通常公演に加え、12月11日にはアンバーホールで追加公演を開催。参加した市民らは、時にシリアスに、時にコミカルに好演し、3公演で600人を超える観衆を魅了しました。





平成29年新春座談会

これからの地域づくり

久慈市では昨年度、今後10年間の市政の方針を定めた新市総合計画を策定しました。この中で、重点戦略として設定したのが「いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」。重点戦略を構成する7つのプロジェクトの一つとして、地域コミュニティの活性化を図り、地域内における人と人との支えあいや行政との協働を促進する「日本一の地域づくりプロジェクト」を掲げています。

しかし「地域コミュニティの活性化が求められている」ことはわかりますが、なぜ今それが必要なのでしょうか？そして、実際に何をすればいいのでしょうか？岩手大学の広田純一教授に「地域づくり」とは何か、また今後求められる「これからの地域づくり」について聞きました。

■遠藤市長
久慈市では、総合計画の柱のひとつとして「地域づくり」に取り組んでいきたいと考えています。本日は、地域づくりを研究する専門家で、久慈市の地域づくりでもアドバイザーをいただいている岩手大学の広田教授にお越しいただきました。市民の皆さんに「地域づくり」について知っていただく機会になればと思います。

□広田教授
私の専門は、農村計画や地域計画。平たくいえば「農村の課題解決学」です。農村の課題というのも時代とともに変化しています。かつては、都市部との生活環境の格差は正無秩序な開発の抑制などのハード面の課題が多く挙げられていましたが、近年は環境整備が進んだ一方で、人口減少や住民参加型の地域づくりといったソフト面が課題になってきています。そのため、住民が自ら地域の課題を認識し、地域全体で共有し、みんなで課題解決に取り組む、そういった地域をどのように作っていくかという「住民主体の地域づくり」が研究のメインテーマになっています。

自分たちの住む地域は、自分たちで主体的に守っていかなければならない時代になってきています。研究できればいいのでしょうか？

□広田教授
まずは、地域の課題を共有することから始めてみてはどうでしょうか。住民の多くは、特に子どもを持った子育て世代などは自分たちの生活で手一杯で、自分の暮らしている地域といえど、どのような課題を抱えているのか気づいていない人が多くいます。まずは、そこに気づいてもらうのが第一歩です。

「知っているようで知らない」といっても人から言われて初めて課題だったと気づく」ということもありますね。市政の運営でも、5年先10年先という長期的な視点を持たなければ成り立ちませんが、こちらに気を取られすぎて、身近な課題をおろそかにしてはいけない、先を見ながらも、足元にも目を向けるということですね。

□広田教授
地域づくりにも、長期的な視点は必要ですが、長期的な視点で取り組む課題というのは解決も難しく、なかなか自分のこととしてとらえるのが難しいという面もあります。そのため、まずはちよつとした取り組みで改善できるような身近な生活課題からスタートするのが肝心です。

実際に「身近な課題に取り組む」という体験が当事者意識を持つことにつながります。ちよつとしたことでも改善につながることで「自分たちも地域に貢献できるんだ」と気づいてもらうのが重要だと思います。

■遠藤市長
「自分たちでやれば、変えられるんだ！」という意識を持つことが大事ということですね。

遠藤 譲一市長

Joji Endo

Chapter 1 「地域づくりとは？」

■遠藤市長
地域づくりと一口に言っても、さまざまな活動があつてなかなかイメージしづらい部分もあるかと思いますが、端的に「地域づくり」とはどんな活動を指すのでしょうか？

□広田教授
私は「課題解決力の高い地域をつくる」ことが「地域づくり」だと考えています。なぜ、課題解決力を高める必要があるのでしょうか。それは地域における課題というものは、

その時々々の社会環境・自然環境で変化していくからです。

例えば自然災害のような突発的な課題が起きたとしても、地域内で対応して住民の生活を守ることができません。これが目に見える形で現れたのが、東日本大震災の時でした。多数の家屋が流されるような大きな被害を受けながらも、自分たちで定期的に集まって地域の再建を模索したり、仮設住宅に移った後も以前のコミュニティを維持できるように取り組んでいる地域があった一方で、被害が少なくても住民がまとまらず再建がなかなか前に進まないという地域もありました。日ごろから、地域の課題解決に真摯に取り組んできたことが、いざという時に大きな違いとなって現れる、そう感じました。

一人一人が役割を持ち、そこに住むみんなが課題解決に協力できる、何かあれば集まって話し合えるという体制を日ごろの取り組みを通じて築いていくことが重要だと考えています。

■遠藤市長
地域コミュニティの課題解決力を高めていくことができれば、住民生活の維持だけでなく、住民自治の促進・住民参加型の市政づくりも期待

■遠藤市長
確かに「知っているようで知らない

岩手大学 農学部 田園計画研究室

広田 純一教授

Junichi Hirota

東京都出身。東京大学農学部卒業、博士課程修了。1985年より岩手大学で教鞭を執る。1990年代後半より学生とともに、県内外の地域づくり活動支援に携わり、住民が自分たちの地域の魅力と課題を見つめ直し、地域の資源を活用した地域づくりにつなげていくための活動支援を行う。東日本大震災後は、地域コミュニティの再建支援を中心に、国・岩手県・被災市町村の復興構想・復興計画の策定に関わる。



□ 広田教授

おっしゃるとおりです。実際にやってみれば、中には自分たちでは解決できない課題もあるでしょう。でも、気が付いた課題を行政に正しく伝えて、行政と「これからどうしていきましょう」という話ができれば、それも一つの達成感になるのではないのでしょうか。これが「市民協働」の第一歩にもなると思います。こういった実践経験を積み重ねて、自分たちでできることを増やしていくことで、より長期的な視点での取り組みにもつながっていくと思います。

Chapter 2 なぜ今、地域づくり

■ 遠藤市長

なぜ今、地域づくりが必要なのかでしょうか。先生の考えを聞かせてください。

□ 広田教授

今、全国的に人口減少、特に若者世代の減少が地域の大きな課題となっています。久慈市でも2040年までに人口が1万人以上減少するという試算を出しています。人口規模が縮小すれば、地域経済も立ち行

かなくなり、今ある地域コミュニティが維持できなくなれば皆さんの生活さえ成り立たなくなる可能性があります。自分の住む地域の生活基盤を維持していくためにも、今こそ「腹を括って」地域づくりに取り組まなければいけないと思っています。

ひとつ知っておいていただきたいのが、「行政に要求すればなんとかなった」という時代は、戦後の一時期だけの話ということです。歴史をさかのぼれば、戦前は地域の主体性というものが今よりもずっと強く、地域でお金を出し合って学校を建てたり、診療所に医者を連れてきたりしていた訳です。

ところが、戦後の高度経済成長期に行政が力をつけ、市民サービスを展開できるようになりました。いわゆる「ゆりかごから墓場まで」という考え方で、地域の整備も行政主導が進められてきました。実際にそれが有効に機能していたのは、経済的に余裕があった限られた時期だけだったんですが、その時代を過ぎた人にとっては、どうしてもそれが「当たり前」という意識があります。本来は地域の住民が担うべき仕事も行政が担ってくれた、という非常に幸福な時期を偶然過ごしてきただけで、歴史的に見ても自分

たちの生活、自分たちの地域を自分たちで守るとするのはごく当たり前のことなんです。だから、今になって住民の主体的な「地域づくり」が必要となっているというよりは、行政依存だったものが本来の姿に戻っただけなんだともいえると思います。

■ 遠藤市長

市内でもいくつかの地域で市民協働の動きが出てきています。地域から「こんな地域を作りたい」という声があがり、一緒に動いてくれる人たちが出てきてくれたら、久慈市の力は今よりもずっと強いものになると思っています。

□ 広田教授

私は、住民から受けた要望を行政がそのまま実行するのではなく、「まずはみなさんで解決できる場所は解決しましょう。それに対して行政も支援します」という姿勢が必要だと思います。課題自体を解決するのはなく、住民が自分たちで解決するプロセスをサポートするというスタンスが必要だということです。

いわば「魚を取ってあげるのではなく、魚の取り方を教えてあげる」というのが協働の第一歩。一度経験すれば、次からは自分たちでできるようになります。そうすれば行政の

いています。

公民館を拠点として設定した理由は、何かしようといったときに住民が集まれる範囲内であることや、これまで公民館で実施してきた社会教育事業などで住民にとつてもなじみがあることが挙げられます。また、公民館を実践の拠点となる施設として利用できるというハード面でのメリットもあると考えられます。

□ 広田教授

小学校区単位や公民館単位など、複数の集落・町内会をまとめた広域の「大きなコミュニティ」で地域づくりを進める理由はほかにもあります。まず、近年は「公共交通」や「子育て環境・学校」をどうするかといった、個別の集落単位・町内会単位などの「小さなコミュニティ」では解決できないような課題が出てきていることが挙げられます。また、人口減少や高齢化などで小さなコミュニティではマンパワーが不足し、課題に対応しきれなくなってきているという実態もあり、広域化することで活動に必要なマンパワーを確保したいという狙いもあります。

集落の草刈りや清掃、お互いの見守り活動など生活に根差した支えあい、これからは「小さなコミュニティ」が担うべき役割だと思います。

負担も減り、別の課題解決に取り組むこともできるはずですよ。

■ 遠藤市長

現在の地方自治の仕組みでは、市が自分たちで決定権を持つというのは難しく、どうしても国や県にお願いをする、という流れになってしまいがちです。でも我々も「こんな久慈市を作りたい」という思いは、しっかりと持って取り組んでいくつもりです。「誰かが何とかしてくれる」でなく、自分たちで取り組んでいく姿勢、「自分たちで変えられるんだ」という考えが、多くの人たち、特に若い世代や女性などにも広がっていくことで、地域全体が変わっていくと考えています。

一方で、例えば「特産品を開発しよう」「観光メニューをつくろう」といった「攻めの地域づくり活動」をしようと思った場合、「小さなコミュニティ」では実現が困難で、「大きなコミュニティ」で取り組む必要があります。

■ 遠藤市長

市内では、公民館の対象地区の町内会や体育協会・PTAなど各種団体が集まり「まちづくり協議会」などの組織を作っている地区もあります。まちづくり協議会のある地区は「大きなコミュニティ」として協議会の活動がより充実するように、ない地区は「大きなコミュニティ」を組織できるように、サポートをしていきたいと思っています。

また、来年度からは公民館を「市民センター」に変更します。「公民館のままでもいいんじゃないか」という声もありましたが、私は「なぜ市民センターなのか」ということを投げかけたのです。市民センターは地域の人たちの実践活動の場であり「ここを拠点に地域づくりを進めていくことで、地域に活力があふれる久慈市に変えていきたい」というメッセージを住民の皆さんに伝えていきたいと思っています。

◀ふるさと未来づくり事業から生まれた山根食チーム。べっぴんカフェの企画や巡回公民館の昼食づくりなど、これまでにない取り組みにもつながっています



Chapter 3 地域づくりの実践

■ 遠藤市長

市では、概ね旧村ごとに設置されている市立公民館を核とした地域コミュニティの活性化を目指して、昨年度から「ふるさと未来づくり事業」に取り組んでおり、広田先生には、この事業をサポートしていただ



山根町で実施した地域の宝さがし▶

□広田教授

名前というのは、案外重要だと思っています。公民館は、やはり社会教育の施設。それに地域づくり活動がプラスされた施設が市民センターです。「ふるさと未来づくり」という名前も、この事業を始めるにあたりいろいろ考えたわけですが、これには「行政に要求する事業ではなく、自分たちがやる事業だよ」という思いがこもっています。自分たちで汗をかきながら住民自ら実施していく、行政はそれをサポートしていく。そういう流れが定着していくと、いい形で回っていくと思います。

地域づくりを進めるために求められるのは人材育成。まずは小さな課題解決を、その地区内の人たちが協力して取り組むということが必要です。形式的に組織だけを作ってもダメで、課題解決の実践の積み重ねを通して、関係者一人一人の意識を変えていかなくてはなりません。そのためどうしても時間はかかってしまいますが、自分たちで実践ができる組織を作るために必要なプロセスだということころは、理解していただきたいと思います。

■遠藤市長

市民センターという施設を考える上で、参考にしたのが北上市です。

地元の情報がかかるような情報誌を送ったり、交流会を開催したり。さらに、地域行事に参加してもらったりと、そういう声掛けを地域の方から行って、つながりを作っておくことで、例えば市民センターを指定管理する際の事務局の人材確保の問題も、選択肢が広がると思います。

■遠藤市長

確かに、山根の場合は小久慈に移り住んでいる人が多くいますし、何かあれば手伝いに行ったり、連携して行事を開催したりもしています。山形と大川目でもそのような連携があります。こういった草の根的なネットワークを強化するということが、いいのでしょうか。

今後、地域コミュニティが力をつけていったら、指定管理者として施設を住民主体で運営してほしいという思いもあります。地域で運営するのは、大変な面もあるとは思いますが、メリットもあるはずですよ。

例えば、行政職員の場合は地域と相性がいい職員が来ても数年で異動してしましますが、北上市のように職員の雇用も地元で選ぶという形になれば、地域づくりのノウハウをもった職員が一貫性をもって事業を展開していけると思います。

もちろん、そういった体制を作れるように、我々も時間をかけてサポートしていきたいと思っています。

□広田教授

久慈の次のステップは、地区ごと、その地区の将来像を定めた「地域計画」を作ることだと思っています。計画を作ることで、目の前の課題だけだけでなく、ちよつと先の課題にも気づいてもらうことができます。また、計画に沿って事業を進めていく中で経験を積んでいくことで、時期がくれば地域で運営したほうが都合がいいということになると思います。北上市では20年近く時間をかけて取り組んできています。急がずじっくりと、支援を続けていくことが大切だと思います。

□広田教授

ネットワークを、地域としてしっかりとした枠組みにしておくことが重要です。人と人の連携ではなく、何かあった際には地区として連携できる体制をつくること、地区としてお願いに行けるような仕組みを作っておく必要があると感じています。例えば、山根地区の中に事務局を担える人がいない時は、小久慈地区在住の方にお願いする。そうすれば、定住する人が減っていても地域を支えていくことができ、地域の消滅を避けることができます。このような、拡大コミュニティの整備が中山間地域の課題解決につながると思っています。

■遠藤市長

個人で声をかけるのと、地域として声をかけるのでは全然違いますからね。久慈市でも、北三陸久慈市ふるさと大使制度も創設して、東京や関西などのあまちゃん好きで久慈が好きという方に申し込みをいただいて、逐一情報提供を行っています。このような、外にいる応援団・地域のファンを見つけて協力をお願いしていくことで、地域の活動の幅が広がっていくはずですね。

Chapter 4

■拡大コミュニティとは

■遠藤市長

施設を地域で運営するという話になったとき「うちの地区では、できる人材がいらないから難しい」という声も聞かれます。こういったケースを解決する糸口はあるのでしょうか？

□広田教授

現在、地域に残っている人だけで考えると、どうしても人材不足になる地域もあると思います。ところが、現在は住んでいなくても、その地域にかかりのある人というのが地域外にいたりしないでしょうか。こういった、地域住民に加えて地域の出身者や地域と交流のあるファンなどを含めた地域コミュニティを、私は「拡大コミュニティ」と呼んでいます。これらの人材の活用を考えてみてはどうでしょうか。

ただし、現状ではそういった人たちと地域が直接つながっている訳ではありません。そういった人たちと常に連絡が取れるような仕組みを作っておく必要があると思っています。例えば、年に一回でも二回でも、

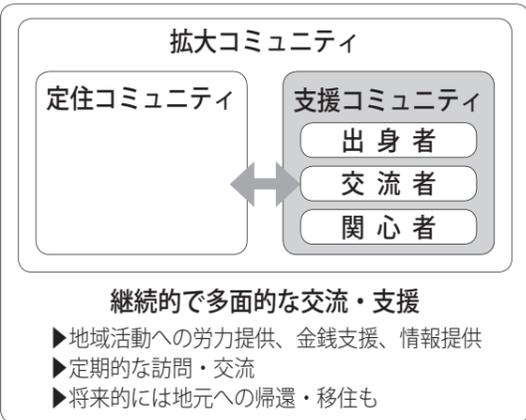
□広田教授

そして、こういった活動を続けていくと、不思議とその地域に帰ろうかという人も出てくるものです。交流や地域活動を活発にやっている地域ほど、若者は残りますし、外からも入ってきます。地域の雰囲気の魅力を感じたり、自分の役割があるという部分に生きがいを感じる人もいます。

■遠藤市長

そういった可能性を広げていくためにも、まずは動いていかなければなりませんね。

東日本大震災・台風10号と大きな被害を受けてきましたが、久慈に住んでいる人たちは一生懸命な人が多く、人と人とのつながりも強いと思っています。また、三陸沿岸道路の開通などによる経済発展の可能性も秘めていると感じています。これに加えて、自分が住んでいる地域の課題解決に参加しようという機運が高まれば、さらに魅力あるまちに



山形町荷軽部のバッテリー村。交流のある大学の学生や卒業生らが支援組織「バッテリーネットワーク」を立ち上げてイベント開催などを支援するなど、拡大コミュニティを形成している。

なっていくと思います。みんなで地域づくりを進めて「みんなが住んでいてよかったと思える場所」を作り上げていくこと。それが「子どもたちに誇れる笑顔あふれるまち」にながっていくはずですよ。久慈ならそれができる、そう信じてます。



引用：広田純一、「拡大コミュニティの仕組み」。人口減少まっただなし！：～だから地域づくり～。久慈市，2016-12-17

女性・若者・子育て世代・ 中高生も大歓迎！

課題も宝も、多様な視点で探るのが大切。それぞれの立場から見つけたもの、みんなで共有することが、よりよい地域の未来を描くことにつながります。ぜひ、ひとりでも多くの声を聞かせてください。

地域のこと、 知らなくても大丈夫！

「引越してきたばかりで何もわからない」「地域活動に参加したことがない」そんな人でも大丈夫。ほかの参加者と話しながら、地域のことについて詳しくなれます。一緒に地域の魅力を探してみませんか？

ふるさと未来づくり事業に 参加してみませんか？

ふるさと未来づくり事業は、どなたでも参加できます。途中参加も大歓迎です。会場は各地区の市立公民館。日程は地区ごとに回覧などでお知らせします。



地域づくりはみんなが主役 ＼ 私たちがサポートします！ ＼



みんなの力で 未来を描こう

ふるさと未来づくり事業で、地域づくりをサポートします

地域みんなと つながる機会！

遠くの親戚より近くの他人。地域の持つ支えあいの力を最大限生かすためにも、まずは同じ地域に住む人同士知り合うことが大切です。普段知り合えない人と出会える機会になるかもしれません。

さまざまな活動に つなげるチャンス！

「なんとかしないと」と思いながらも、「自分だけでは解決できないし…」「実際にやるのは大変だし…」と普段はなかなか口に出せない課題。みんなで共有して、「地域の課題」として解決につなげるチャンスです！

「やってみたい」 から始めよう！

一人だとできないことも、地域ぐるみで取り組めば実現できるかもしれません。こんなことをやったら面白いんじゃないか、こんな地域資源が活用できるんじゃないか、まずは提案してみませんか？

●地域づくり振興課 ☎ 52-2116

市では「これからも住み続けたいまち・戻ってきたいと思うまちづくり」を実現するために、地域づくりを担う地域コミュニティの活性化を目的とした「ふるさと未来づくり事業」を実施。地域の課題や将来像などを共有し、それを解決・実現する実践活動を通じて、これからの地域づくりを担えるチームづくりをサポートしています。

活動の拠点となる公民館ごとに地区を設定し、それぞれの地区の実情に合わせた取り組みを展開。各地区のまちづくり協議会等と協力・連携しながら事業を進めています。

現在、山根・山形・大川目・小久慈の4地区で取り組みを始めています。自分の住む地域を知って、目指す将来像を考え、実践していく「地域づくり」。未来を描くための一歩を踏み出すきっかけに、皆さんもふるさと未来づくり事業に参加してみませんか？

まちづくり協議会って何？

地域の発展や住民の親睦などを目的に、地区の町内会などが共同で事業を実施するために組織しています。名称や構成団体はそれぞれ異なりますが、市内に7団体が設置されています。



小久慈まちづくり協議会
鹿糠 勇会長

小久慈まちづくり協議会は、平成20年に設立されました。小久慈地区の13町内会に加え、女性部や体育協会、老人クラブ、PTAなど地区内の各種団体が構成団体となっており、小久慈全体を包括した組織となっています。

協議会として取り組んでいるのが、三大事業と呼んでいる敬老会・町民運動会・町民文化祭。このほかに、7つの部を設置してそれぞれ交通安全運動やスポーツ大会など担当の事業を実施しており、数日に1度は何かしらの活動を行っていることとなります。

事業を円滑に展開するために、週に1度主要な役員が集まる定例事務局会議を開催しています。これにより、情報を共有して、互いに理解を取りながら進めることができるのは強みだと思います。また、定期的に「小久慈まちづくり通信」を発行し、協議会や町内会の活動などを紹介しているのも特徴です。情報発信は、それ自体が自分たちの活動の源でもありますし、地域の結束を強めることにも一役買っていると思います。



上/台風10号の影響により恒例の町民運動会を中止し、滝地区でボランティア活動を実施 中/老若男女が参加する小久慈ユニカル大会 下/一大イベントの敬老会。長内中学校の生徒が長中ソーランを披露

■山根地区の取組事例

H28/4 ~

③作成した計画に沿って実践活動を展開



1/歴史チームが開催した塩の道ウォーキング 2/食チームは、山根サマーフェスティバルで「べっぴんカフェ」をプレオープン 3/自然チームは長寿の泉の環境整備を実施

チームごとに準備を進め、地域の食材を使った「べっぴんカフェ」プレオープン、山根の歴史を伝える「塩の道ウォーキング」などを開催。8月の台風10号による被害を受け、以降の活動予定が中止となりましたが、11月には地域の集会施設を回る「巡回公民館」に食チームが参加して昼食を提供するなど活動を再開しています。

H27/8

①地域の持つ資源や抱える課題を探し出す



深田で開催されたふるさと点検

山根町内の7会場で「ふるさと点検」を実施。地域のおかれた状況や抱えている課題の把握、地域の持つ資源や魅力などの掘り起こしを行い、結果をまとめて地域で共有しました。

H27/11 ~ H28/3

②ワークショップで実践活動の計画づくり



旧山根小中で行ったワークショップ

3回のワークショップを開催し、地域の将来像を考える「夢語り」、活動内容の検討、計画づくりを実施。①自然②食③歴史④交流の4チームにわかれて実践を行うことを決定しました。

寄せられた義援金

1,267件

9,568万1,960円

(12月10日現在)

全国から東日本大震災に対する義援金が寄せられました。ご支援ありがとうございます。

6月11日～12月10日 受付分 (敬称略)

義援金

■団体

▶(株)ニック(福岡県)▶土・日ジャンボ市(滝沢市)▶北村技術(株)(青森県)

■個人

▶島田収二(埼玉県)▶タナカジュン▶タニグチタケシ▶匿名4件

寄付金

■団体(～8月30日)

▶明星食品(株)(東京都)▶(株)コヤマドライビングスクール(東京都)▶(株)レーベルホールディングス(市内)▶久慈法人会(市内)▶大同生命保険(株)(東京都)▶A I U損害保険(株)(東京都)

■ふるさと納税

県内…197件(3,095,000円)

県外…7,373件(95,092,923円)

コミュニティ助成



右/荷軽部太鼓の会が整備した地区行事などに活用する長胴太鼓や桶胴太鼓 左/砂子町内会が整備した除雪機。生活道路や通学路の確保、高齢者の除雪支援を行います

地域活動の備品を整備

荷軽部太鼓の会(谷地大輔会長)と砂子町内会(吉田喜蔵会長)は、このたび、一般財団法人自治総合センターが実施する宝くじの助成制度を活用して、地区行事などに活用する備品を整備しました。



宝くじの収入は、地域活動の活性化に役立てられています

Q. 民生委員・児童委員って?

A. 「民生委員・児童委員」は、民生委員法と児童福祉法に基づき厚生労働大臣から委嘱された私たちの身近な相談役。常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な支援を行うボランティアです。民生委員制度は平成29年に百周年を迎えます。

Q. どんな活動をしているの?

A. 「民生委員・児童委員」は、日常生活の困りごとの身近な相談役。行政や福祉のサービスを必要とする人に、制度や利用方法などを伝え、関係機関につなげます。高齢者や心身に障がいがある人、育児や子どもの問題、生活に支援が必要な人など、あらゆる相談に応じ、地域全体の見守りや訪問活動を行います。また、それらの活動を生かし、災害時の安否確認や、不登校・引きこもり・児童虐待などの課題にも積極的に対応しています。

「主任児童委員」は地区ごとに活動し、教育や子育てなど児童に関する悩みや問題を専門に担当します。

Q. 気軽に相談して大丈夫?

A. 各委員には、相談で知り得た情報を守る「守秘義務」が法律によって定められています。秘密は固く守られ、個人情報漏れることもありません。介護や健康、子育てなど日常生活の困りごとや悩みごとがありましたら、お住まいの地区の担当委員に気軽にご相談ください。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|------|------|------|-------|------|-------------|-------|--------|------|-------|---------|------------|------------|------------|------|--------------|-------|--------------|-------|-------|----------|-----------|----------|-----------|
| 久慈匡弘 | 野田みき子 | 小向榮吉 | 桑田孝一 | 浅水満男 | 澤瀬美智子 | 久慈みさ | 久世哲也 | 大向たつ子 | 宇部タマ | 廣崎三正 | 坂本きわ子 | 中野こう子 | 宇部裕子 | 澤里弘子 | 久慈伸子 | 大崎恵作 | 宇部地区 | 下道喜佐雄 | 石川義仁 | 播磨孝則 | 小向明 | 大内田敦子 | 新井野勉 | 藤井正太郎 | 三上貴敬 |
| 本町(待浜) | 横沼 | 白前 | 桑畑 | 外屋敷 | 堀切 | 堀切 | 小倉・長坂・馬寄・大渡 | 小袖 | 小袖沢・三崎 | 久喜2 | 久喜1 | 山屋敷・谷地中 | 川原屋敷・山田・大沢 | 和田沢・地京沢・中田 | 和野・北の越・滝の沢 | 町・日向 | 板橋・菱倉・豊谷・宇津目 | 半崎 | 鼻崎・閉伊口・住吉・田中 | 駅前・大湊 | 黒沼・早坂 | 田沢・野中・大崎 | 門ノ沢・中崎・国坂 | 夏井・生平・小田 | 門ノ沢・中崎・国坂 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|-----------|---------|--------|-------|------|--------|---------|--------|-------|------|-------|-------|------|--------|-----------|-----|------|------------|---------|--------------|-------|--------|------|
| 下屋敷フミ子 | 松坂重男 | 下館満吉 | 二ツ神麻衣子 | 荻間澤悦子 | 谷地ユワノ | 下道徹男 | 成谷サチ子 | 角チエ子 | 鈴木章夫 | 鹿糠マリ子 | 二又祐子 | 二橋恵美子 | 上有谷洋子 | 山館陽一 | 細細正良 | 伊藤恵子 | 栗沢頼 | 伊藤定男 | 羽柴民子 | 鈴間清 | 馬渡幸子 | 本波善作 | 桑田ふみえ | 小向秀子 |
| 繋・向屋敷・新田 | 戸呂町・厚浦の一部 | 戸呂町・厚浦の一部 | 日野沢・出ル町 | 落安・木藤古 | 荷軽部 | 来内 | 外川井・沼袋 | 中川井・下川井 | 上川井・沢繁 | 霜畑 | 関・成谷 | 下小国 | 上小国 | 下戸鎖 | 馬越・上戸鎖 | 千足・村井・浅小沢 | 端野 | 細野 | 木売内・保礼羅・橋場 | 深田(小田瀬) | 横倉馬渡・深田元村・白田 | 麦生・本波 | 北野・保土沢 | 角柄 |



地域の身近な相談役

民生委員・児童委員 主任児童委員を委嘱

社会福祉課 ☎52-2119

12月1日、任期満了による一斉改選を経て、民生委員・児童委員と、主任児童委員が決定し、厚生労働大臣からの委嘱状が伝達されました。新たに委嘱された委員の任期は平成31年11月末までの3年間。市内8地区の民生児童委員協議会で、120人の民生児童委員と16人の主任児童委員が活動しています。

誰もが安心して地域で暮らし続けるために、活躍する委員の皆さん。頼れる相談相手となる地区の担当者を確認しておきましょう。

主任児童委員

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|
| 大上小百合 | 二ツ神悦子 | 松野下康子 | 橋上祥子 | 大西末子 | 林崎智香子 | 久慈のり子 | 中川敏枝 | 鳥谷峯道子 | 佐藤セイ子 | 桜庭明 | 引地範子 | 小野寺裕 | 佐々木操 | 間加壽子 | 高畑小三郎 |
| 山形地区 | 山根地区 | 侍浜地区 | 宇部地区 | 夏井地区 | 大川目地区 | 長内地区 | 久慈地区 | 久慈地区 | 久慈地区 | 久慈地区 | 久慈地区 | 久慈地区 | 久慈地区 | 久慈地区 | 久慈地区 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|-------|-----|------|----------|-----------|----------|------|------|------|------|-------|------------|-------|-------|------|-------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|-----|-----|--------|--------|---------|
| 高山明美 | 村田東助 | 中西さつ子 | 関英紀 | 室野房子 | 柴田修佑 | 田高和子 | 神田秀昭 | 田表一夫 | 藤森保則 | 澤里光子 | 米沢玲子 | 三輪カシコ | 高橋優子 | 柴田トク子 | 大久保幸男 | 七上清明 | 中澤きみ子 | 類瀬礼子 | 伊藤政文 | 内久保征一 | 晴山健二 | 横田マサ子 | 西政弘 | 伊藤武男 | 野場洋輝 | | | | | | |
| 田高1 | 川崎町 | 本町 | 巽町 | 柏崎 | 駅前・表町・新町 | 中の橋・二十八日町 | 八日町・十八日町 | 荒町 | 西の沢 | 川貫2 | 川貫1 | 新中の橋 | 湊上・久慈湊小学校前 | 湊中・湊下 | 新井田 | 門前3 | 門前2 | 門前1 | 栄町1 | 栄町2 | 栄町3 | 栄町4 | 天神堂4 | 天神堂3 | 天神堂2 | 天神堂1 | 寺里2 | 寺里1 | 畑田・沢里1 | 畑田・沢里2 | 枝成沢・長久保 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|------|-------|--------|---------|-------|------|------|-----------|------|------|-----|-----------|------|------|-------|-------|---------|------|------|--------|------|------|------|--------|-------|--------|-------|------|------|------|-----|------|
| 夏井俊勝 | 馬内弥太郎 | 伊藤悦子 | 外里優子 | 藤森智 | 小倉明 | 兼田貞男 | 米内由光 | 高田静江 | 根井義男 | 三上昌明 | 小川勝雄 | 瀧鈴子 | 八屋芳紀 | 末崎とき | 奥寺文夫 | 島山タイ子 | 鹿糠満里子 | 高柳史朗 | 鈴木淳子 | 新里雄一 | 小田勝夫 | 熊谷一雄 | 熊谷正男 | 廻立松太 | 新井谷秀志 | 四役日出夫 | 鳥澤フヂエ | 田名部栄作 | 神田光子 | 山田澄子 | 石川京子 | 小田正 | 中村喜八 |
| 川代・大芦・富原 | 根井 | 田中 | 山口・外里 | 中田・由子内 | 新町(大川目) | 森上・森下 | 森中 | 砂子 | 三田町・新丁・千草 | 仲小路 | 生出町 | 滝 | 岩瀬張・中里・横合 | 新築町 | 幸町2 | 幸町1 | 下日吉町 | 上・中・日吉町 | 上日当 | 下日当 | 秋葉・大沢田 | 上柏木 | 下柏木 | 大尻 | 玉の脇・二子 | 元木沢 | 下長内・平沢 | 中長内 | 上長内1 | 新長内 | 東広美町 | 田高2 | 広美町 |

※長内地区上長内2、山形地区関・二又は欠員です

市職員の採用試験

☎総務課 ☎52-2112

- 採用予定人数
土木：1人程度
- 受験資格
1級土木施工管理技士または2級土木施工管理技士の資格を有する者で、昭和56年4月2日以降に生まれた者

- 試験日…平成29年2月10日(金) (受付：13時～13時15分)
 - 試験会場…久慈市役所
 - 試験内容…作文試験、面接試験等
 - 申込方法…市役所総務課で申込用紙を配布します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、宛先と郵便番号を明記して120円切手を貼った返信用封筒（A4判）を同封してください。
 - 申込期間…平成29年1月4日(水)～2月3日(金)17時15分
- ※郵送の場合は同日の消印有効

温かい支援 全国から

被災者への支援物資、義援金、市への寄付金
(11月11日～12月15日)

義援金

台風10号の被災者の生活やまちの復旧・復興を支援しようと多くの支援物資や義援金、市への寄付金が全国各地から寄せられています。温かいご支援、ありがとうございます。(敬称略)
※支援者の申し出に基づき掲載しております。名称等に誤りがある場合がありますが、ご了承ください。

- 市外
 - ▼楽天銀行(株)▼IGRいわて銀河鉄道(株)▼岩手日報会▼岩手県立水沢工業高等学校生徒会▼阿部和夫▼いわて翼の会▼盛岡市立永井小学校▼すいかっこクラブ滝沢▼楽天(株)▼軽米町保健推進員協議会▼絹の庵三藍▼小千谷市民▼盛岡市立巻堀小学校児童会▼洋野町立角浜小学校児童会▼和酒菜園遊月亭▼てんやわん屋▼古民家バルあじくる▼三代目魚真▼岩手県立大野高等学校生徒会▼リトアニア共和国との事前キャンプに関する協定締結記念レセプション参加者有志一同▼下村敏彦▼菅野まゆみ▼青木俊直▼関西岩手県人会▼岩手県歯科衛生士会
- 市内
 - 〔企業・団体〕▼Zoo・Zoo CAFE▼日本音楽協議会第49回はたらくもの音楽祭▼(株)黒沼建築設計事務所▼下柏木婦人会▼第47回小久慈町民文化祭〔個人〕匿名1件
 - 振込
 - ▼マンヤセツケイマンヤヒロ▼アナマサチコ▼アオモリケンリツヒロサキチュ▼ウザ

東京・小金井市と「災害時相互応援に関する協定」締結

大規模災害時の応援体制構築へ



協定書に署名した西岡小金井市長(左)と遠藤市長

11月24日、旧山形村時代から民間主体での交流を続けていた東京都小金井市との間に「災害時相互応援に関する協定」を締結しました。

この協定は、大規模災害時の円滑な応急対応・災害復旧を目的に、物資提供などの応援体制を相互に構築するもの。県外自治体との防災協定締結は、6月の小千谷市との協定

に続き、2例目となります。市役所で行われた締結式には、両市の関係者ら約20人が出席。遠藤譲一市長と西岡真一郎小金井市長が協定書に署名を行いました。遠藤市長は「災害時だけでなく、普段の交流も活発に進めたい」と期待を込め、西岡小金井市長は「首都直下型地震の発生が懸念される中、大規模災害を経験した久慈市から取り組みを学びたい」と話しました。

| 協定の主な内容 | |
|----------------------|-----------------------------------|
| ▶食料や飲料水など生活必需品の提供 | ▶被災者の救出、医療、防疫、施設の応急復旧などに必要な資機材の提供 |
| ▶救援・救助活動に必要な車両等の提供 | ▶被災者の一時収容施設の提供 |
| ▶救援・救助・応急復旧に必要な職員の派遣 | ▶ボランティアのあつせん |

寄付金

- ▼岩手県信用金庫協会▼風に立つライオン基金▼盛岡信用金庫▼遠藤匡俊▼国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン▼(株)みちのりホールディングス▼岩手県北自動車(株)▼岩手県北観光▼福島交通(株)▼茨城交通(株)▼関東自動車(株)▼会津乗合自動車(株)▼湘南モノレール(株)▼(株)経営共創基盤▼山形県庄内町議会▼(株)岩手県市議会議長会▼(株)ジェイティービー総務部▼手風琴40周年記念▼ライラ舞踊団▼三八・上北流域林業活性化センター▼国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン▼国際ソロプチミスト若狭▼(株)アイシーエス▼新岩手農業協同組合▼小千谷闘牛振興協議会
- 市内
 - ▼岩手県建設業協会久慈支部▼北星鉱業(株)▼久慈ライオンズクラブ▼農業委員会一同

NEWS

防災関連情報も充実

タウンページ合冊で暮らしのガイドブックを発売

市では、NTTタウンページ東北営業本部と共同制作を行い、電話帳の合冊として、生活に関する行政情報などをまとめた「暮らしのガイドブック」を掲載しています。このたび、掲載冊子の「久慈市版タウンページ」と別冊「防災タウンページ」が発刊されました。防災タウンページには、防災特集として各種災害時に気をつけるポイントや、久慈市の過去の災害記録を掲載。また、別冊の防災タウンページには、災害に備えた準備のチェックシートや、各地域の避難所と公衆電話やAED(自動体外式除細動器)の配置状況をまとめたマップなどを掲載し、いざというときに役立つ一冊になっています。

NEWS

男女共同参画推進事業「防災女性力アップ講座」

「女性目線」を生かして



3グループに分かれ、意見を出し合う参加者

11月26日、中央公民館で男女共同参画推進事業「防災女性力アップ講座」を開催。岩手大学の三宅諭准教授による講演、ワークショップを通じて、約20人の参加者が女性の視点を生かした災害時の避難所運営について考えを深めました。

受講した日當ます美さんは「支援が必要な子どもを災害時にどう守るのか、参考にしたいと参加しました。意見交換を通じて、子どもや妊婦への対応など起こりうる問題を事前に共有しておくことが大切だと気づき、より防災への意識が高まりました」と話しました。



12月中を目途に市内全戸に配布される予定。ぜひご活用ください。

久慈市地域見守り協力事業に関する協定締結式

安全・安心なまちづくりに一歩

NEWS

これまでに協定を締結した事業所等

- いわて生活協同組合
- 日本郵便株式会社 久慈郵便局
- 日本郵便株式会社 宇部郵便局
- 日本郵便株式会社 待浜郵便局
- 日本郵便株式会社 山根郵便局
- 日本郵便株式会社 陸中山形郵便局
- 青森三八五流通株式会社
- ENEOS グローブエナジー株式会社 北日本支社
- 蒲野新聞店
- 有限会社 久慈石油
- 株式会社 久慈ミルクセンター
- 佐川急便株式会社 北東北支店
- 佐々木新聞店
- 株式会社 下幸屋商店
- 有限会社 新宏堂
- 中塚運送
- 有限会社 播磨酒店
- 晴山牛乳店
- プレステック株式会社
- 有限会社 ホームセンター仙台
- 有限会社 北桜堂新社
- 株式会社 細谷地
- 宮城建設株式会社
- 宮古ヤクルト販売株式会社
- 明治牛乳久慈宅配センター
- 明治安田生命保険相互会社 盛岡支社
- ヤマト運輸株式会社 岩手主管支店
- 山松商店
- 読売新聞久慈専売所
- インフォコム株式会社
- 東北王子運送株式会社 久慈営業所

市では、戸別配達などを行う事業所等との間に「地域見守り協力事業に関する協定」を結び、業務中に異変を察知した場合に連絡・通報を行う体制を整え、高齢者や子どもが安心して暮らせる見守り活動の充実に努めています。

12月8日、東北王子運送株式会社久慈営業所と新たに見守り協定を締結。これにより、協定の締結は全31事業所となりました。



協定書を取り交わした奈良聖一所長(左)と遠藤市長

二戸★トピックス

北いわての農家の手仕事体験



土蔵で寝かせる My味噌 & Miniほうきづくり

日時…1月22日(日)10時20分 (IGR二戸駅改札前集合)

旅行代金…大人 7,880円
小人 6,630円

※貸切バス代、昼食代、体験料、入浴代、味噌3kg込
※二戸駅までの交通費、味噌送料は含まれません

しんと雪降る冬は手仕事の季節。門崎(かんだぎ)地区のお母さんたちが教える味噌づくり。お味噌は一夏土蔵で寝かせます。若手農家さんにはミニ篇(ほうき)づくりを習います。

申込締切…1月18日(水)

最少催行人員…20人

■資料請求先
IGR銀河鉄道観光 ☎019-601-9991
メール：gingakankou@igr.jp

※このツアーは、本告知での申込みを受け付けておりません。まずは資料をご請求ください。

10月15日、16日(前期)と11月19日、20日(後期)に開催された岩手県中学校新人大会。栄冠を勝ち取った選手たちを紹介します。

秋の栄冠

久慈中学校柔道部 柔道男子団体 優勝



男子団体メンバー…(前列右から)笹原優亮くん(大将)、勝田時成くん(副将)、兼田海聖くん(中堅)、岡澤祥太郎くん(次鋒)、榎木悠仁くん(先鋒)

interview

部長 勝田時成くん

中総体準優勝の悔しさをバネに練習に励み、その成果を発揮できました。日々の練習と大会での勝利を積み上げ、来年の中総体優勝につなげていきたいです。

キャプテン 笹原優亮くん

日々の厳しい練習が自分たちの自信となり、優勝を勝ち取ることができました。この勝利に安心せず、来年の中総体での優勝を目標に練習を頑張ります。

長内中学校柔道部 柔道女子団体 優勝



女子団体メンバー…佐藤暖心さん(先鋒・左から2人目)須藤結子さん(大将・左から3人目)、日形井絢音さん(中堅・中央)(写真提供:長内中学校)

interview

部長 佐藤暖心さん

「全員柔道」を合言葉に、目標としていた優勝を達成できました。引き続き練習を重ね、雰囲気盛り上げて中総体優勝、東北、全国大会での勝利を目指します。

部員 須藤結子さん

優勝はメンバーが役割を自覚し、励まし合い全力で試合に臨んだ結果です。優勝に油断せず気持ちを締め、次の中総体でも優勝を目指し頑張ります。

- 活躍した選手たち (順不同・敬称略)
- ソフトテニス【男子】
5位 梶谷祥海・高橋諒(久慈中)
- 陸上競技【男子】
共通800m 3位 小田武蔵(三崎中)
1年1500m 2位 小田武蔵(三崎中)
2年1500m 3位 石井達也(久慈中)
共通3000m 2位 石井達也(久慈中)
共通棒高跳 5位 久保綾斗(久慈中)
共通砲丸投 6位 野場大輝(久慈中)
- 陸上競技【女子】
2年100m 7位 相馬佳奈(長内中)
- 柔道【男子個人】
55kg級 3位 久慈真也(侍浜中)
90kg級 3位 勝田時成(久慈中)
90kg級超 3位 笹原優亮(久慈中)
- 柔道【女子個人】
40kg級 2位 熊谷かなめ(久慈中)
63kg級 2位 須藤結子(長内中)
70kg級 3位 中村心葉(長内中)



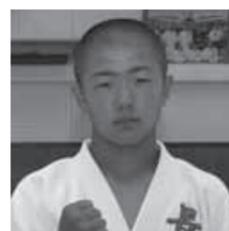
陸上女子共通砲丸投げ優勝 大畑葵さん(久慈中・2年)

優勝はうれしいですが、大会記録には及ばず悔しいです。中総体で13m以上の記録で優勝し、全国を相手に男女を問わず1番の記録を出すことが次の目標です。



柔道女子個人44kg級優勝 佐藤暖心さん(長内中・2年)

組手を変えることを課題に練習を重ね、次につなげられる試合ができました。寝技を確実に決め、苦手な組手から入れる技を増やし、全国を目標に頑張ります。



柔道男子個人66kg級優勝 鹿糠鉄斗くん(長内中・2年)

決勝戦を一本で勝ち、目標の優勝を達成できました。来年の中総体優勝、東北、全国大会入賞を目指し、先生や先輩を相手に稽古を重ね、技に磨きをかけていきます。

※写真は8月撮影

■市政懇談会の開催結果

| 開催日 | 対象 | 会場 | 参加人数 |
|----------|-----|--------|------|
| 8/4(木) | 大川目 | 大川目公民館 | 14人 |
| 8/5(金) | 夏井 | 夏井公民館 | 14人 |
| 8/19(金) | 山根 | 山根公民館 | 15人 |
| 8/22(月) | 宇部 | 宇部公民館 | 14人 |
| 8/24(水) | 山形 | おらほーる | 24人 |
| 8/25(木) | 長内 | 長内公民館 | 16人 |
| 8/26(金) | 河南 | やませ土風館 | 12人 |
| 8/29(月) | 小久慈 | 小久慈公民館 | 16人 |
| 10/28(金) | 河北 | 市民体育館 | 8人 |
| 11/1(火) | 侍浜 | 侍浜公民館 | 22人 |
| 合計 | | | 155人 |

一覧表を掲載しています
http://www.city.kuji.iwate.jp/matizukurika/koho_g/kondankai.html

※意見や回答等をまとめた一覧表は、希望する町内会・自治会に対して配布します。詳しくは地域づくり振興課まで、お問合せください。

市政懇談会を開催しました

地域づくり振興課 ☎ 52-2116

市民の皆さんに意見を募り、市政に反映させることを目的に、昨年8月4日から11月1日にかけて、市政懇談会を開催しました。一部台風などの影響で開催が延期された会場があるましたが、10会場で実施し、155人が参加。今年度は、公民館の市民センター移行に関する説明会を同時開催し、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

一覧表を見られる場所

- ▼市役所
- ▼山形総合支所
- ▼中央公民館
- ▼長内公民館
- ▼小久慈公民館
- ▼大川目公民館
- ▼夏井公民館
- ▼宇部公民館
- ▼侍浜公民館
- ▼山根公民館
- ▼市立図書館
- ▼山形図書館

グループに分かれ意見交換

久慈市教育振興実践交流大会 教育に地域で連携



馬場さんの講演を聞く参加者ら

学校・家庭・地域住民等が一体となり、地域の教育課題の解決を目指す教育振興運動。11月19日、この運動の実践に関わる団体やPTAなどから81人が参加し、中央公民館で実践交流大会を行いました。実践発表では、防犯パトロールなどの活動に取り組む「久慈湊地区青少年健全育成会」が地域で子どもを育てる意識の共有を呼びかけ、続いて三戸町教育委員会の馬場幸治さんが、子どもたちの目標達成と生活習慣の関係、学校や地域でできるサポートなどについて講演を行いました。

NEWS 得意のミシンで健闘



銅メダルを掲げる川端さん

県立久慈拓陽支援学校の川端南海さん(高等学校3年)が、10月28日から30日にかけて山形県で開催された全国障害者技能競技大会(アビリンピック)において、ミシンを使いエプロンを作る縫製部門で3位入賞を果たしました。出場者の多くは社会人で同校在校生の入賞は初。「ミシンはお母さんから教わった」という川端さんは、夏休みなどに家で練習を重ね、洋品店を営むプロからの指導も受け栄冠につなげました。

11月25日、川端さんは市役所を訪問し入賞を報告。合わせて、同校の寄宿舎夏祭りの益金や高等部の作業製品販売の際に集めた募金を久慈市の台風10号被害に係る義援金として寄付しました。



義援金を手渡す寄宿舍友会の関端会長(左)

My life in Kuji



レネー・エストリッジ さん

インディアナ州・28歳 / 夏井小、久喜小、小袖小、久慈中、宇部中、山形地区の小中学校を担当

クリスマスの祝い方

年を追うごとに、日本のクリスマスのお祝いが盛大になっているように感じています。町を彩るイルミネーション（電飾）やお店のデコレーションを見ていると、まるでアメリカにいるみたい。

でも、1つ大きな違いがあります。それは、クリスマスの食べ物。日本では、フライドチキンやクリスマスケーキを食べますが、アメリカではフライドチキンを食べる習慣はありません。

また、ケーキも日本のものとはまったく違う「フルーツケーキ」が一般的です。このフルーツケーキですが、見た目が悪く、食欲をそそらないばかりか、重たくて胃にもやさしくありません。

ですから、私の家ではフルーツケーキは食べず、代わりにみんなでクッキーを焼いています。この季節、我が家のクッキーが恋しくなります。でも、私はそれ以上に、目にも美しく、胃にもやさしい日本のケーキが食べたいです！

皆さん、メリークリスマス！そしてよいお年を！



ご神木の「侍浜八幡宮の大杉」は推定樹齢400年。市指定文化財の天然記念物です。



ぶらりくじ歩き

住民に親しまれる八幡さま 侍浜の「八幡宮」

侍浜公民館 ☎58-2110

侍浜郵便局向いに「八幡さま」の通称で親しまれる八幡宮があります。大永年間（1521～1527年）に久慈氏が侍浜町に村を開いた際、氏神として建立されました。現在の八幡宮は、老朽化により改築され平成25年5月に建て替えられました。

身近にある神社として、家内安全、無病息災、縁結び、合格祈願など事あるごとに町民が手を合わせ、また毎年8月15日の例大祭には多くの人が訪れます。古い歴史と伝統に裏打ちされ、侍浜の地域に今も変わらず鎮座する八幡さま。今年の初詣は侍浜八幡宮に足を運んでみませんか。

きらり人輝く

「何もできなくて、言ってるやらないでいるより、自分にできることをして、まわりの人を助けてあげたい。」
ぼくは、『えんぴつ太郎のぼうけん』という本を読んだ。この本は、男の子が父さんからももらったえんぴつに「えんぴつ太郎」と名前をつけ、とても短くなったころ、つくえの後ろのせまいすき間にそのえんぴつが転がりこんだことから、ぼうけんが始まる物語だ。ぼくが一番心に残ったのは、持ち主の男の子に忘れさられた気のどくな子ぶたの指人形を助けようと、えんぴつ太郎がお手紙を書くことを思いついたところだ。短くなってちっけなそんざいになってしまったえんぴつ太郎が、自分が何をしてあげられるのかに気づき、何とか役に立とうとがんばっていた場面である。
そんなえんぴつ太郎とくらべて、ぼくは、どうだろう。「ちっけなそんざいでも、自分ができるところをがんばって助けてあげたい。」

ぼくも、そんなことは、いつも思う。でも、実さいにやるのは話があつた。何をしたらいいのか、どうやっていいのかわからない。ぼくができることで助けてあげられるのか。ぼくには、何ができるのか。ぼくには、えんぴつ太郎のような勇気がないなとさびしくなった。でも、ちがった。母は、ぼくにありがとうを言ってくれた。おふるをそうじした時やモップをかけた時、そして、たたみ方を知らなかったせたく物をたたんだ時に、「ありがとう。」
と言ってくれたのだ。ぼくは、何もできないと思つていたけれど、知らないうちにたたみ方も覚えて母を助けることができていたのだ。きつと、えんぴつ太郎も自分に何ができるのかなんて先のことでは考えていなかったんじゃないかと思う。今、できることをがんばる。これなら、ぼくにもできる。
『えんぴつ太郎のぼうけん』を読んで、小さくなくても最後まであきらめない心が大切だと感じた。ぼくは、何もできないからとあきらめていたより、自分ができるところをがんばることでまわりの人を助けてあげられるようになりたい。そうやってできることをふやしていきたい。きつとそこがぼくのぼうけんのスタートなんだと思う。

第49回 岩手読書感想文コンクール

岩手読書感想文コンクール(岩手日報社・日報岩手書店会主催)で、久慈小学校の西館光尊くんが小学校の部(中学年)最優秀賞、久慈高校の中村樹里さんが高校生の部で優秀賞を受賞しました。



小学校の部 中学年(3,4年) 最優秀賞

課題図書『えんぴつ太郎の冒険』

ぼくにできること

にしたり みつたか 西館 光尊くん(久慈小4年)

担任の先生に勧められて読んでみた本で、夏休みの読書感想文として書きました。最優秀賞をもらったと聞いたときは、すごくびっくりしました。えんぴつ太郎みたいに、小さなことでも自分ができるところを進んでやるのが大切だと気づき、今でもお風呂そうじなど家の手伝いを続けています。

声をあげればまちは変わる！

12月12日、山形町の日野沢公民館に辻野さんの姿がありました。元気なまち久慈市になるよう、辻野さんは自身のセラピー(癒しカウンセリング) 経験を生かした活動を先々月より開始。日野沢公民館では地域のみなさんと笑顔をともにして、それぞれの悩みごとや地域課題などさまざまな事柄を共有していました。

「どんなことでもいいので私に話していただき、心を軽くしてほしい。皆さんが住んでいて良かったと思う笑顔あふれる久慈になれば素敵ですから」と話す辻野さん。今後もさまざまな場所に出掛け、皆さんと会話していきます。(記・宇部芳彦)



地域の皆さんと車座トーク

協力隊 だより

辻野 忠さん

(つじの ただし・50歳)

15年のセラピスト(心理カウンセラー) 活動を経て昨年、久慈市の地域おこし協力隊に。市民の心に寄り添った活動を進めている。



会話が弾み笑顔がこぼれる辻野さん(写真左)

●地域おこし協力隊…移住定住促進を目的に、都市部からの移住者に対して市が委嘱。地域おこしの支援(地域行事やイベントの応援、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR、情報発信など)や農林水産業への従事、住民の生活支援など「地域協力活動」を行います。

高校の部 優秀賞

自由図書『シンドラーに救われた少年』

木箱の上で

なかむら じゅり 中村 樹里さん(久慈高2年)



去年は入選だったので、自分の書いた感想文を評価してもらえたこと、また新聞に掲載され、たくさんの人に読んでもらえたことをうれしく思います。私が選んだ本は、第二次世界大戦中のナチスドイツに迫害されたユダヤ人の物語。「受験前にじっくりと考えながら読書する機会を」と選びました。平和とは、ありふれた普段の生活を送れる幸せであり、それを築いてきた先人たちの苦しみや涙に、しっかりと目を向けていかなければならないと感じました。

元 健康
健 だより

よくかんで 健康元気
～かめることのメリット～

保健推進課 ☎ 61-3315

歯科健診を
定期的に
受けましょう



今月の元気さん



こまかい かつお
小向 勝雄さん
(侍浜町・85歳)

朝夕の散歩と毎日プレーするマレットゴルフで今日も健康元気です。

むし歯のデメリットで、真っ先に思い浮かぶのは「痛み」ではないでしょうか。しかし、しっかり「かむ」ことができなくなることも、大きなデメリットです。

かむことにはさまざまな効果があります。ゆっくりよくかんで食べることは、肥満防止とガンの予防になります。子どもの場合には、口のまわりの筋肉をよく使うことで言葉の発音がきれいになり、脳に流れる血液の量が増えことで脳の発達を促すことができます。ま

た、高齢者の場合には認知症の予防にもなります。しっかりかめる丈夫な歯でいるためには、むし歯を予防し健康な歯を守っていくことが大切です。

むし歯予防のためには①歯みがきをしっかりと②だらだら食わずに食事と食事(またはおやつ)の間隔を2～3時間あけることなどが大切です。歯医者さんで定期的に歯科検診を受けたり、歯のクリーニング(歯石除去)を受けてみることもいいですね。

子 育 援
応 だより

利用案内

子育て支援センター (川崎町11-1) ☎ 52-3210

■対象・利用料…未就学児と保護者・無料

■利用時間…①月～金 8時30分～17時 ②土 8時30分～13時30分

■休館日…土曜日の午後、日曜日、祝日

※28日(水)の自由来所は12時までです。



行事の紹介



みずき団子作り

無病息災を願いながら、色とりどりの団子でみずきの木を飾りましょう。その後は、みんなでおしるこをいただきます。

今月の元気ちゃん



しもだて ゆうご
下館 侑悟くん
(5歳・山口保育園)

保育園では友だちとブロックでべごを作って遊んでいるよ。

| 日 | 時間 | 行事名 |
|-------|-------------|----------------------------------|
| 4(水) | 13:30～15:00 | 赤ちゃんサロン 対象…1歳3カ月までのお子さんと保護者 |
| 11(水) | 10:30～12:00 | みずき団子作り 申込みが必要です。 |
| 24(火) | 10:00～14:00 | ひよこ教室 |
| 27(金) | 終日 | あそびの教室 対象児が決まっているため自由来所はできません |

写真で久慈市を振り返る

なつかしタイムカプセル

平成2年1月13日～16日

全柔連のジュニア強化合宿が三船十段記念館で開催。オリンピック金メダリストが指導に訪れました。

編集後記

12月に入り胃腸炎が猛威をふるっています。取材先でも体調を崩しているという話を伺いました。我が家でも家族が胃腸炎の洗礼を受け点滴のお世話に…。感染時の衛生管理が家族の感染拡大を防ぐ鍵だと痛感しました。(広崎)

9月以降、なんやかんや忙しすぎて、何もしないまま年末進行に突入してしまいました。せめて、無事に年くらいは越したいものです。そのためにも、今月の残り8ページに、無事に終わって配付されていることを祈ります。(後)

図書館
だより



《市立図書館》 ☎ 53-4605

■開館時間…9時～19時(土日祝は17時まで)

■休館日…1(日)～3(火)、10(火)、16(月)、23(月)、30(月)、31(火)

にっぽんのおかず



白央篤司/著
理論社/出版

お米を引き立てるさまざまなおかず。北海道のホッケ焼き、栃木県のかんぴょうの玉子とじ、千葉県のイワシのゴマ漬、沖縄県のラフテー、そして岩手県は三陸のすき昆布。47都道府県の郷土食を写真とともに紹介します。

- 企画展「冬休みおすすめ本展」…1/22(日)まで
冬におすすめの本や課題に役立つ本を展示・貸出
- 図書館映画会…①14(土)②28(土)10:00～14:30～(2回)
- 読み聞かせ会…①14(土)11:00～②28(土)14:00～
- ブックスタート…19(木)①10:30～②13:30～ ※①4～5カ月児相談、②6カ月児健診の会場(元気の泉)で開催

1月の利用案内

おすすめ図書

イベント情報



《山形図書館》 ☎ 72-3711

■開館時間…10時～18時

■休館日…1(日)～3(火)、9(月)、10(火)、16(月)、23(月)、30(月)

農と食の王国シリーズ「そば&まちづくり」

鈴木 克也/監修
エコハ出版/発行



そばの歴史・文化を探るとともに、その栽培、料理の仕方、店の展開などを、まちづくりや地域おこしと結びつけて考察し、「そば&まちづくり」の活動事例とそこで活躍する人物を紹介。世界のそば料理も掲載しています。

- 企画展「冬休みおすすめ図書展」…22(日)まで
- 企画展「干支(酉)の図書館」…4(水)～31(火)まで
- 企画展「企画展、岩手づくし!」…26(木)～2月28(火)まで

生活環境
だより

生活環境課 ☎ 54-8003



ノロウイルスにご注意を!

冬は「ノロウイルス」による食中毒が多発する時期です。ノロウイルスは生ものを食べたり、人から感染したりします。次のポイントに注意して家庭での感染を予防しましょう。

- ①液体せっけん等で手をよく洗う
- ②人の手が触れるドアノブやトイレの消毒を行う
- ③手ぬぐいやタオルなどは共用せず、感染の恐れがある場合には入浴の順番を変える
- ④感染した時は水分をこまめに補給する
みんなの注意でこの冬も元気に過ごしましょう。

暮らしの情報

このページでは、暮らしに役立つ情報をお知らせします。

- ★本庁舎 ☎52-2111
- ★山形総合支所 ☎72-2111
- ★宇部支所 ☎56-2111
- ★侍浜支所 ☎58-2111
- ★山根支所 ☎57-2111

※市役所の各課の番号は直通電話です。また、上記の代表電話からも掛けられます

教育委員 会議の予定

☎ 教育総務課
☎52-2154

▶日時…1月18日(水)15時30分～
▶会場…市役所3階・第1会議室
※傍聴可。日程は変更する場合あり

みんなで書初めをしよう

新年の始まりにめでたい文言を書いてみませんか。学校の冬休みの課題を書いても構いません。

▶日時…1月9日(月・祝)

①10時30分～12時

②13時30分～15時

▶会場…やませ土風館

▶参加費…1,000円(資料代など)

▶申込期限…1月6日(金)

☎ 興道館晴山書道教室 ☎53-3808



お知らせ

台風被災事業者に補助金

昨年8月の台風10号で被災した事業者等を対象に、1月以降も復旧支援補助金(地域なりわい再生緊急対策補助金)の申請を受け付けます。詳しくは担当課へご相談ください。

▶日時…1月5日(休)から(祝祭日を除く平日) ①9時30分～12時 ②13時～16時

▶場所…市役所車庫棟2階臨時相談室

▶補助率…補助率1/2 ※補助上限有

☎ 商工振興課 ☎75-3891

障がい者控除認定書を交付

65歳以上で要介護1以上の人は、障がい者手帳がなくても税の障がい者控除を受けられる場合があります。控除を受ける場合は「障がい者控除対象者認定書」が必要です。申請から交付まで10日程度かかります。詳しくはお問い合わせください。

☎ 社会福祉課 ☎52-2119

償却資産の申告忘れずに

平成29年1月1日現在、市内に事業用の償却資産を所有している人は申告が必要です。電子申告システム「eLTAX」での申告も受け付けます。

▶申告期限…1月31日(火)

☎ 税務課 ☎52-2114

上級救命講習会を開催

AEDの操作や一次応急処置を学びます。修了した人は救急救命士の補助ができる資格が得られます。

▶日時…1月21日(土)9時～18時

▶会場…防災センター視聴覚研修室

▶参加料…無料

▶申込締切…1月13日(金)

☎ 久慈法人会 ☎52-2273

タックスゼミナールを開催

久慈税務署の職員を講師に招き、マイナンバー制度の運用について講演いただきます。参加料は無料です。

▶日時…1月18日(水)14時～

▶会場…中央公民館

☎ 久慈法人会 ☎52-2273

空き家バンクへ登録を

空き家バンクは市外から移住を希望する人に、物件情報を提供する制度です。空き家売り手・貸したい人はご相談ください。

▶登録要件…①一軒家(長屋、アパートは登録不可) ②土地と家屋の所有者が一致している等

※老朽化が著しく、大規模な修繕が必要な場合は登録できないことがあります。

☎ 地域づくり振興課 ☎52-2116

ポスターコンクール 応募作品を展示

☎ 都市計画課 ☎52-2151

八戸・久慈自動車道整備促進住民大会ポスターコンクールの応募作品をアンバーホールに展示します。▶日時…1月4日(水)、5日(木)、11日(水)～16日(月)、18日(水)、9時～18時

台風10号による居住住宅被災者のみなさまへ 支援金の申請・義援金の配分

☎ 社会福祉課
☎52-2119

台風10号により居住する住宅が床上浸水以上の被害を受けた世帯に対し被災者生活再建支援金を支給しています。忘れずにお手続きください。

また、義援金の配分は本支援金の申請に基づいて実施されますが、住宅を解体する場合は支援金の申請が解体後になります。本支援金

の申請とは別に義援金の申請手続きをお願いします。

■国の支援金(支給額37.5万円～100万円及び加算支援金)

対象:「全壊」「大規模半壊」または住宅を解体する場合

■市の支援金(支給額25万円または30万円)

対象:「半壊」「床上浸水」の場合

社会教育・地域づくりを学ぼう

少子高齢化や人口減少が進む中、これからの地域コミュニティ活動について学ぶ研修会を開催します。

▶日時…1月23日(月)14時から

▶会場…市役所大会議室

▶講師…小野寺浩樹氏(いちのせき市民活動センター長)

▶申込期限…1月20日(金)

☎ 生涯学習課 ☎52-2156(内線462)

最低賃金が改定されました

岩手県特定(産業別)最低賃金が12月11日から改定されました。県内で働く以下の産業の労働者に適用されます。詳しくはお問い合わせください。

| 業種 | 賃金額 |
|---------------------------|------|
| 鉄鋼業、金属製品等製造業 | 790円 |
| 電子部品・デバイス、電気器具、情報通信機器等製造業 | 756円 |
| 光学機械器具・レンズ、時計等製造業 | 774円 |
| 各種商品小売業 | 767円 |
| 自動車小売業 | 800円 |

☎ 岩手県労働局 ☎019-604-3008

ひとり親家庭等の法律相談

離婚や養育費など日常生活の悩みや困っていることへ弁護士が無料で相談に応じます。

▶日時…1月18日(水)10時～15時

▶会場…久慈地区合同庁舎

▶対象…ひとり親家庭、寡婦など

☎ 県北広域振興局保健福祉環境部 ☎53-4982

東北財務局からのお知らせ

■多重債務の相談窓口

自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱え、悩んでいる人の相談に応じています。相談は無料、秘密は厳守します。

▶相談専用電話…019-622-1637

▶受付…月～金曜 8時30分～16時30分(年末年始、祝日を除く)

■金融犯罪被害防止の出前講座

地域のコミュニティ活動などに伺い、金融犯罪未然防止のための無料出前講座を行います。振り込め詐欺などの手口や対策をわかりやすく解説。お気軽にお問い合わせください。

☎ 東北財務局盛岡財務事務所 ☎019-622-1637

募集

市営住宅空きあります

| 住宅名 | 戸数 | 家賃(月額・円) |
|----------|----|-------------|
| 萩ヶ丘地区住宅① | 1 | 3,400～5,100 |
| 萩ヶ丘地区住宅② | 1 | 3,800～5,600 |
| 萩ヶ丘地区住宅③ | 1 | 4,200～6,300 |

▶申込期限…1月13日(金)

☎ 建築住宅課 ☎52-2120

☎ 山形総合支所産業建設課 ☎72-2129

林業アカデミー研修生を募集

林業への就職を希望する人を対象とした「いわて林業アカデミー」の平成29年度研修生を募集します。

▶研修期間…平成29年4月から1年間

▶応募資格…30歳未満の高等学校以上を卒業した者

▶出願期間…1月16日(月)～2月3日(金)

▶選考日…2月18日(土)

▶選考内容…小論文及び面接

☎ 岩手県林業技術センター研修部 ☎019-697-1536

～休日のお知らせ～

・H29.1/4(水)まで休診

・1/14(水) 休診

～予防接種特別日程～

1/7(土) 14:30～17:00 ※左記時間帯で予防接種の方のみ受付致します。処方せん発行等はいりません。

小児科・内科
アレルギー科
ちだ医院
久慈市門前37-56-26 ☎61-3366

Amberウエディング
本格レストランウエディングが叫ぶ
琥珀の森のレストラン
THE WEDDING RESTAURANT
少人数で素敵な時を過ごす、アットホームなウエディングもくんのこら二人らしいほいほいに、親しい人とレストランの料理を優雅に楽しむ新しいスタイルをご提案いたします。
憧れのガーデンウエディング
一日一組だけの、こころづくしのウエディング
お気軽にご相談ください
Bistrot くんのこ ☎59-3881

**久慈ひまわり基金
法律事務所**
相続 遺言 離婚 債務整理
破産 成年後見 不動産登記
など何でもご相談下さい
TEL0194-61-1818
※要予約
営業時間 平日9:00～17:30
久慈市川崎町12-18 YKビル1階

観光バス・送迎バス
タクシー・バス・旅行業
通常営業しております。
観光旅行、冠婚葬祭、学校のクラブ遠征等にご利用下さい。
(株)三河交通観光
久慈市中央二丁目13番地 TEL0194-53-6161

仏壇、神仏具、花罌、葬儀一式
●くじせれモニーホール●
メモワール・ノヴァ
長内館・川貫館・野田館
24時間体制で受付しております
(有)野場造花仏具店
久慈市十八日町 ☎52-2010

真心をこめた料理をお届け致します。
《各種仕出し料理承ります》
祝膳・仏膳・折詰・弁当・オードブル・寿司
(御予算に合わせてご用意させて頂きます)
安心安全の目印「Sマーク」登録店
おおむら
久慈市長内町34-26-1
TEL 0194-52-1155



地酒等普及促進・乾杯条例が制定
地酒で乾杯しよう!

市内の農業や産業の活性化のため、宴会などの際には地元の清酒やワイン、ジュースで乾杯しましょう!

☎ 久慈市議会事務局 ☎52-2188



水族館変奏曲

アクアリウムパリエーション

作 : こむろこうじ
演出 : 佐々木 道子



とある町の浜辺にある水族館。優しい職員のもと、生き物たちが元気に暮らしていました。ところが ある日、津波に襲われ…

水族館の再建に向け、個性豊かな支援者や行政とともに奔走する職員たち。果たして、みんなが幸せな気持ちを持てるような形で水族館を再建できるのでしょうか？



平和な水族館を
突如襲う地震と津波



中には力尽き、
息絶える生き物も…



どうしたらよいか、
みんな試行錯誤の日々



紆余曲折ありつつも、
思いはひとつ！水族館再建へ



劇作

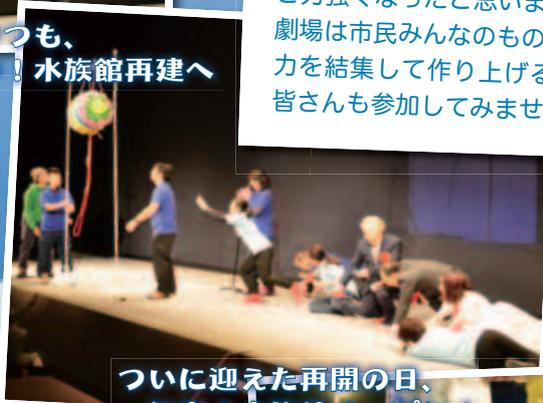
こむろ こうじさん

今回の公演では、演出や舞台監督などの役割を若手の参加者たちが務めるなど、チームとしてこれまで以上に熟成され、一段と力強くなったと思います。市民劇場は市民みんなのもの。全員の力を結集して作り上げる舞台に、皆さんも参加してみませんか？



こむろ こうじさん

今回の公演では、演出や舞台監督などの役割を若手の参加者たちが務めるなど、チームとしてこれまで以上に熟成され、一段と力強くなったと思います。市民劇場は市民みんなのもの。全員の力を結集して作り上げる舞台に、皆さんも参加してみませんか？



ついに迎えた再開の日、
無事？水族館オープン！



何はともあれ…
めでたしめでたし



エビ役で
初出演！

ほりま あいな
播磨 愛和さん
(夏井小4年)

去年の公演を見て、私もやってみたい！と思って、チャレンジしました。たくさんのお客さんがいて緊張したけど、練習通り演技できました。これからもずっと参加したいです！



演出に
初挑戦！

佐々木 道子さん

見た人が「頑張ろう」と思えるような舞台を目指して、舞台監督2人と一緒に取り組んできました。公演では、一人一人が魅力を発揮して、気持ちのこもった演技ができたと思います。これも、演じるみんなが、しっかりと脚本を読み、伝えたいことを明確にしていたからだと思います。誰かひとりが主役ではなく、みんなで作り上げた舞台にできたと思います。

お芝居は、舞台を作り上げていく「過程」も魅力があります。また、様々な年代の参加者と交流ができるのも貴重な経験。お互いを認め合える仲間と、みんなで作り上げる楽しさを、多くの人に味わってほしいです。

